

医療の質測定 定義書

更新日：2023年5月1日

基本情報

指標番号

2124_2

名称

カルバペネム・ニューキノロン・抗 MRSA 薬使用までの培養検査実施率

分母

カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬、抗 MRSA 薬（バンコマイシン内服は除く）投与を開始した入院症例数

分子

分母のうち投与開始初日までに培養検査を実施した人数

指標群

感染症

意義

広域抗菌薬を使用する際の望ましいプラクティス

年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット

EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 入院中の広域抗菌薬(下記) に該当するものを検索する。また入院中の最初の算定日を同定し、最初の算定日のみを対象とする。

薬価基準コード7桁	名称	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
6113400	抗 MRSA 注射薬	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○	○	○
6119400	抗 MRSA 注射薬	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○	○	○
6119401	抗 MRSA 注射薬	テイコプラニン	○	○	○	○	○	○	○
6119402	抗 MRSA 注射薬	ダプトマイシン	○	○	○	○	○	○	○
6139400	カルバペネム系注射薬	メロペネム水和物	○	○	○	○	○	○	○
6139401	カルバペネム系注射薬	ビアペネム	○	○	○	○	○	○	○
6139402	カルバペネム系注射薬	ドリペネム水和物	○	○	○	○	○	○	○
6139501	カルバペネム系注射薬	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○	○	○	○
6139503	カルバペネム系注射薬	パニペネム・ベタミプロン	○	○	○	○	○	○	○

医療の質測定 定義書

更新日：2023年5月1日

薬価基準コード7桁	名称	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
6241400	ニューキノロン系注射薬	シプロフロキサシン	○	○	○	○	○	○	○
6241401	ニューキノロン系注射薬	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○	○	○	○
6241402	ニューキノロン系注射薬	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○	○	○	○
6249401	抗 MRSA 注射薬	リネゾリド	○	○	○	○	○	○	○
6249402	抗 MRSA 注射薬	テジゾリドリン酸エステル					○	○	○
6249002	抗 MRSA 経口薬	リネゾリド	○	○	○	○	○	○	○
6249003	抗 MRSA 経口薬	テジゾリドリン酸エステル					○	○	○

2. 特定機能病院を除く

分子の定義

- 入院日より分母で同定した広域抗菌薬の最初の算定日まで（最初の算定日を含む）に、下記の培養の実施があれば分子1とする。

診療行為コード	基本漢字名称	コード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
160058210	細菌培養同定検査（口腔からの検体）	D018_1	○	○	○	○	○	○	○
160144410	細菌培養同定検査（気道からの検体）	D018_1	○	○	○	○	○	○	○
160144510	細菌培養同定検査（呼吸器からの検体）	D018_1	○	○	○	○	○	○	○
160058310	細菌培養同定検査（消化管からの検体）	D018_2	○	○	○	○	○	○	○
160058610	細菌培養同定検査（血液）	D018_3	○	○	○	○	○	○	○
160144710	細菌培養同定検査（穿刺液）	D018_3	○	○	○	○	○	○	○
160058410	細菌培養同定検査（泌尿器からの検体）	D018_4	○	○	○	○	○	○	○
160144610	細菌培養同定検査（生殖器からの検体）	D018_4	○	○	○	○	○	○	○
160058710	細菌培養同定検査（その他の部位からの検体）	D018_5	○	○	○	○	○	○	○
160058810	細菌培養同定検査（簡易培養）	D018_6	○	○	○	○	○	○	○

その他

薬剤一覧の出力

はい

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. バンコマイシンの内服薬は腸炎への利用であり、用途が異なり分母から削除した
2. 本定義では、広域抗菌薬を「抗 MRSA 薬（内服、注射、バンコマイシン内服は除く）、カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬」としている（2018年度の定義の見直し時）
3. 外来や紹介元での検査結果をもとに治療している場合、指標値が低くなる
4. スクリーニング検査などを実施している場合、指標値が高くなる
5. 特定機能病院では、微生物学的検査は基本的検体検査実施料に含まれ、検査項目が EF ファイルに記載されない場合が多い。

参考資料

参考値

参考資料

1. 抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス
https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/guidelines/1708_ASP_guidance.pdf
<http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/ASPguidance.pdf>